

1. 物質・混合物および会社情報

1.1 製品情報

製品名： F.S.C. 22
製品番号： 3801480 3801480S

1.2 物質・混合物の用途

物質・混合物の用途： 生物学的染色

1.3 安全性データシートの提供者の詳細

会社名： ライカマイクロシステムズ株式会社
東京都新宿区高田馬場1-29-9 東亜DKK株式会社別館オフィスビル
電話番号： 03-6758-5620（問合せ・緊急連絡先）
FAX番号： 03-5155-4334

2. 危険有害性情報

2.1 物質・混合物の分類

CLP/GHS分類(1272/2008)： 有害物に分類されていない。

EU分類(67/548/EEC)： 有害物に分類されていない。

2.2 表示要素 不要

2.3 他の有害性 なし

3. 組成、成分情報

3.1 物質

化学名	CAS番号 / EINECS番号 / REACH登録番号	% (W/W)	EU分類	CLP/GHS分類
ポリエチレングリコール	25322-68-3 ポリマー	<5	-	-

GHS分類とEU分類の全文については「16. その他の情報」を参照。

4. 応急措置

4.1 応急措置の説明

応急措置

目に入った場合： 上下のまぶたを別々に持ち上げながら水で目を洗うこと。刺激が続く場合は医療機関を受診すること。

皮膚に付着した場合： 取り扱い後は石鹸と流水で皮膚を洗浄すること。

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動すること。刺激が続く場合は医療機関を受診すること。

飲み込んだ場合： 少量を飲み込んだ場合は、水で口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識がないまたは眠気を生じている場合は、一切の経口投与を行わないこと。大量に飲み込んだ場合は、刺激や不快感が生じた場合、医療機関を受診すること。

健康への影響の詳細については、「11. 有害性情報」を参照すること。

4.2 急性と遅発性の最も重要な症状と作用

軽度の眼の刺激を引き起こすことがある。長時間の皮膚接触は軽度の刺激を引き起こす可能性がある。

4.3 応急処置および特別な治療

大量に飲み込んだ場合は、刺激や不快感が生じた場合、医療機関を受診すること。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤 周辺火災に適した消火剤を使用すること。

5.2 物質・混合物による特有の危険性

異常火災・爆発の危険： データなし

燃焼時の生成物： 炭素酸化物、煙。

5.3 消火作業への注意事項 化学物質による大規模火災の消火にあたる際には自給式呼吸器および防護服を装着すること。現場の緊急計画に従い、対象区域からの避難や隔離が必要かどうかを判断すること。火に暴露した容器を冷却するため散水を使用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時の措置

適切な保護具を着用すること。

6.2 環境に対する注意事項

排水管や水路への流入を防止すること。地域や国の規制に従って流出を報告すること。

6.3 封じ込めおよび処分のための方法・機材

安全に対処できるのであれば流出を防止すること。不活性物質で吸収させること。火花を発生させない工具および機械を使用すること。廃棄のために適切な容器に回収すること。

6.4 参照

個人用保護具については「8. 暴露防止および保護措置」、処分については「13. 廃棄上の注意」を参照すること。

7. 取扱いおよび保管

7.1 安全に取扱うための注意事項

目、皮膚、衣服との接触を避けること。蒸気やミストを吸い込まないこと。使用後は念入りに洗うこと。使用しないときは容器を密閉すること。

7.2 任意の配合禁忌を含む安全な保管条件

容器の物理的破損を避けること。冷所に保管すること（1-15°C）。使用時以外は必ず、容器を密閉すること。容器が空でも製品が残留している。空容器自体に対してや空容器の近くでの切断、溶接、ろう付け等の行為をしないこと。空容器の取扱いについてはこの安全データシートの注意事項をすべて遵守すること。

7.3 特定の最終用途

工業用途： 特定なし

研究用途： 生物学的染色

8. 暴露防止および保護措置

8.1 防止基準

化学物質名	米国 OEL	EU OEL	イギリス OEL	ドイツOEL
-------	--------	--------	----------	--------

安全データシート

F.S.C. 22

ページ 3

発行日：2013年8月22日

改訂番号：1

ポリエチレングリコール	10 mg/m ³ TWA AIHA WEEL (エアロゾル)	基準なし	基準なし	1000 mg/m ³ (吸入)
-------------	--	------	------	-----------------------------

OEL：職場暴露限界 TWA AIHA WEEL：時間加重平均 米国産業衛生協会により設定された作業環境許容濃度

上記以外の国または地域

化学物質名	生物学的限界値
ポリエチレングリコール	基準なし

8.2 暴露防止

推奨される測定方法： ガスクロマトグラフィー分析による炭管への回収。

適切な技術的管理： 適切な局所排気装置を使用し、暴露を職業上の暴露限界値以下に維持すること。

個人用保護対策

目・顔の保護： 飛散の可能性がある場合は、保護眼鏡を着用すること。

皮膚の保護： 非常時は必要。

手の保護： 不透性の手袋を長時間使用する場合は（ラテックスまたはニトリル）を推奨。

呼吸器の保護： 適切な換気は必要なし。職場暴露限界を上回る場合には、認可を受けた空気供給呼吸器を使用すること。呼吸器の保護具を選定する際には、有害物質の種類、形態、濃度を考慮すること。米国労働安全衛生局法1910.134またはその他の適用される法令や適正な産業衛生規定に準じて選択すること。

その他の保護具： 不要

9. 物理的および化学的性質

9.1 物理的および化学的性質の基本的な情報

外観： 透明な液体	臭気： 決まっていない
嗅覚閾値： 該当せず	pH： 決まっていない
融点/凝固点： 該当せず	沸点： 決まっていない
引火点： 引火性なし	蒸発率： 決まっていない
燃焼範囲 下限値： 該当せず	蒸気圧： データなし
燃焼範囲 上限値： 該当せず	
蒸気密度（空気=1）： 該当せず	相対密度： 確立していない
溶解度： 可溶性	分配係数 オクタノール/水： データなし
自然発火温度： データなし	分解温度： 確立していない
粘度： 該当せず	爆発性： 非爆発性
酸化特性： なし	比重（H₂O）： 確立していない
分子式： 混合物	分子量： 混合物

9.2 その他の情報

その他の情報： データなし

10. 安定性および反応性

10.1 反応性

通常条件下では反応しない。

10.2 化学的安定性	通常条件下では安定。
10.3 危険な反応の可能性	反応性があることは予想されていない。
10.4 回避すべき条件	強力な酸化剤
10.5 禁忌物質	報告なし
10.6 有害な分解生成物	火災時もしくは非常に高温条件下における熱分解によって、炭素の酸化物が生成する可能性がある。

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

潜在的な健康への影響：

目に入った場合：発赤や涙とともに軽度の炎症が起こることがある。

皮膚に付着した場合：長時間皮膚に接触させた場合、炎症が起こることがある。

吸入した場合：高濃度ミストが咳やくしゃみを引き起こすことがある。

飲み込んだ場合：胃腸の炎症、吐き気や下痢などの胃腸への影響を与える可能性がある。

急性毒性：ポリエチレングリコール：経口 ラット 半数致死量 28,900 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性：混合物のデータなし。成分は腐食性ではない。

目の損傷/刺激性：混合物のデータなし。眼の刺激物として分類されていない。

呼吸器系への刺激：混合物のデータなし。高濃度ミストは、呼吸器系に軽度の刺激を与えることがある。

呼吸器感作性：混合物のデータなし。いずれの成分も、呼吸器感作性はない。

皮膚感作性：混合物のデータなし。いずれの成分も、皮膚感作物質ではない。

生殖細胞変異原性 混合物のデータなし。いずれの成分も、生殖細胞変異原性物質ではない。

発がん性：混合物のデータなし。いずれの成分も、発癌物質としてリストされていない。米国労働安全衛生庁 (OSHA)、米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)、国際がん研究機関 (IARC)、米国国家毒性プログラム (NTP)、またはEUの危険物質指令による。

生殖毒性：混合物のデータなし。この製品は、有害な生殖影響を引き起こすことが予想されない。

特定標的臓器毒性：

単回暴露： 知見なし

反復暴露： 知見なし

12. 環境影響情報

12.1 毒性	プロピレングリコール：タイセイヨウサケ (Salmo salar) 半数致死濃度 >1,000 mg/L
12.2 残留性・分解性	データなし
12.3 生物蓄積性	データなし
12.4 土壌への移動性	データなし
12.5 難分解性・生体蓄積性・有毒性/極難分解性および猛毒性評価結果	：不要
12.6 その他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

自治体および国の規制に従って廃棄すること。

14. 輸送情報

	14.1 国連番号	14.2 国連輸送品目正式名	14.3 危険性等級	14.4 包装分類	14.5 環境汚染
アメリカ運輸省	-	規制なし	-	-	-
カナダ危険物輸送規則	-	規制なし	-	-	-
EU危険物の国際道路輸送に関する欧州協定/ 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則	-	規制なし	-	-	-
国際海上危険物規約	-	規制なし	-	-	-
国際航空輸送協会/国際民間航空機関	-	規制なし	-	-	-

14.6 特別な注意事項：なし

14.7 添付文書Ⅲ MARPOL 73/78 と IBCコードによるバルク輸送：規定せず

15. 規制情報

15.1 本物質や化合物に関する具体的な安全・健康・環境上の規制・法令

国際インベントリー

米国環境保護庁（EPA）の有害物質規制法（TSCA）

既存化学物質リスト： すべての成分は、有害物質規制法の既存化学物質リストに記載されている。

カナダ環境保護法

カナダ国内物質リスト： すべての成分は、カナダ国内物質リストに記載されている。

米国規制

米国労働安全衛生庁（OSHA）

危険度分類： 危険なし

包括的環境対策補償責任法（CERCLA）

CERCLA 103項： この製品における報告義務値はない。多くの州では、より厳格な排出報告の必要がある。漏出報告は、連邦、州および地方の規制の下で必須となっている。

環境保護庁（EPA）スーパーファンド修正および再授權法（SARA）

EPA SARA 302項： この製品は、スーパーファンド修正および再授權法302項における規制化学物質は含まれていない。

EPA SARA 311項： 危険性なし

EPA SARA 313項： Ⅲ.313項における規制化学物質：なし

カルフォルニア州定義65

癌、生殖毒性や先天異常（発生毒性）を生じさせる化学物質：知見なし

国際規制

作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）

WHMIS分類： 規制製品なし

16. その他の情報

EU分類と危険フレーズ（参照：「2. 危険有害性情報」、「3. 組成、成分情報」）

なし

CLP/GHS分類とHフレーズ（参照：「3. 組成、成分情報」）

なし

全国防火協会（NFPA）評価： 健康：1 火災：0 不安定性：0

危険有害性物質識別システム（HMIS）等級： 健康：1 火災：0 物理的危険性：0

本安全データシートは、欧州のREACH規制および化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）に準拠して作成されています。また、カナダ管理製品規則、米国29CFR 1910.1200に定める要件に準拠しています。記載の情報は当社が確認する限りにおいて正確ですが、当社および子会社が市場性や正確性を保証するものではなく、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。当製品の使用または本情報の信用から第三者に生じたいかなる請求、損失、損害、利益損失、および具体的・直接的・間接的・典型的被害に対して、Leica Biosystemsは一切の責任を負うものではありません。

適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

PRTR法： 該当しない

消防法： 該当しない